

千葉県産農林水産物輸出活性化検討会議

【結果概要】

1 日 時 令和5年11月6日（月）14：30～16：40

2 場 所 千葉県自治会館 9階第1・2会議室

3 主な意見

(1) 県産農林水産物輸出活性化支援調査業務の内容について

- ・放射性物質検査証明書に係るコスト等の負担を明確化し、証明書が必要のない他県との比較をしてほしい。
- ・さつまいもの輸出に関して空輸、船便でのメリット・デメリットを比較してほしい。

(2) 千葉県の取組方針の検討の方向性について

① 成田市場、成田空港を活用した輸出拡大について

- ・成田市場や成田空港を活かした県ならではの輸出取組に期待。
- ・産地と成田空港が隣接している優位性は、「フレッシュ」という大きなブランドをつくることができる。
- ・水産物に関しては、他市場との差異を現実的に見極め、他で取り組んでいないような EU 向け鮮魚の輸出にターゲットを絞る等の戦略・設備が必要ではないか。
- ・植物検疫だけでなく、輸出品目が全て揃うといった成田市場のワンストップ機能とその強化に期待。

② 県産農林水産物の輸出拡大について

生産面では、

- ・県内の産地連携及び生産基盤の強化が必要。
- ・他都道府県との差別化を図り、千葉県として価値を出していくには、大規模輸出産地をつくっていくべきではないか。

流通・販売面では、

- ・輸出ロットをまとめていかなければ、船便でもコスト高になる。
- ・現地のニーズを把握した上で生産すれば、輸出は拡大可能。
- ・現地 SNS の活用やインバウンドと絡めた産品訴求が有効。

といった意見があった。

その他、輸出に取り組む事業者数の拡大に向けた広報活動を求める声があった。